

10 付 表

付表1 植付本数早見表(10a当り)

株間 畦幅	25cm 本	30cm 本	35cm 本
1m 05cm	3,845	3,125	2,705
1m 10cm	3,570	3,030	2,565
1m 15cm	3,450	2,855	2,565
1m 20cm	3,335	2,780	2,380
1m 25cm	3,225	2,630	2,275
1m 30cm	3,030	2,565	2,175
1m 35cm	2,940	2,440	2,130
1m 40cm	2,855	2,380	2,040

付表2 0.1a当り畦長早見表

畦幅	0cm	1cm	2cm	3cm	4cm	5cm	6cm	7cm	8cm	9cm
100cm	10.00	9.90	9.80	9.71	9.62	9.52	9.43	9.34	9.25	9.17
110cm	9.09	9.01	8.93	8.85	8.77	8.70	8.62	8.55	8.47	8.40
120cm	8.33	8.26	8.20	8.13	8.06	8.00	7.94	7.87	7.81	7.75
130cm	7.69	7.63	7.58	7.52	7.46	7.41	7.35	7.30	7.25	7.19
140cm	7.14	7.09	7.04	6.99	6.94	6.90	6.85	6.80	6.76	6.71
150cm	6.67	6.62	6.58	6.54	6.49	6.45	6.41	6.37	6.33	6.29
160cm	6.25	6.21	6.17	6.13	6.10	6.06	6.02	5.99	5.95	5.92

表の見方：例えば畦幅125cmの場合、畦長何mで0.1aになるか？ その場合縦欄120cmと横欄5cmの交差点8.00mが0.1aの畦長となる

付表3 甘蔗茎径に対する茎長1m当りの重量換算表(g)

mm cm	0 g	1 g	2 g	3 g	4 g	5 g	6 g	7 g	8 g	9 g
1.5	187	190	192	195	198	200	203	205	208	211
1.6	213	216	219	221	224	227	230	232	235	228
1.7	241	244	246	249	252	255	285	261	264	267
1.8	270	273	276	279	282	285	288	291	294	298
1.9	301	304	307	310	313	317	320	323	327	330
2.0	333	336	340	343	347	350	353	357	360	364
2.1	367	371	374	378	381	385	389	392	396	399
2.2	403	407	410	414	418	422	425	429	433	437
2.3	441	444	448	452	456	460	464	468	472	476
2.4	480	484	488	492	496	500	504	508	512	516
2.5	521	525	529	533	537	542	546	550	554	559
2.6	563	567	572	576	580	585	589	594	598	603
2.7	607	612	616	621	625	630	634	339	644	648
2.8	653	658	662	667	672	677	681	686	691	696
2.9	700	705	710	715	720	725	730	735	740	745
3.0	750	755	760	765	770	775	780	785	790	795
3.1	800	806	811	816	821	826	832	837	842	848
3.2	853	858	864	869	875	880	885	890	896	901
3.3	907	912	918	923	929	935	940	946	952	957
3.4	963	968	974	980	986	991	997	1,003	1,009	1,014
3.5	1,020	1,026	1,032	1,038	1,044	1,050	1,055	1,061	1,067	1,073
3.6	1,079	1,085	1,091	1,097	1,103	1,109	1,115	1,121	1,128	1,133
3.7	1,140	1,146	1,152	1,159	1,165	1,170	1,177	1,183	1,189	1,196
3.8	1,202	1,208	1,215	1,221	1,228	1,234	1,240	1,247	1,253	1,259
3.9	1,266	1,273	1,280	1,287	1,292	1,299	1,306	1,312	1,319	1,325
4.0	1,333	1,339	1,345	1,351	1,359	1,366	1,372	1,379	1,386	1,393

茎径が1.55cmの場合、縦の1.5cmと横の5のところ200gが茎長1m当りの1本重である。

10a当り立本数10,000 × 200g × 2.5m = 5,000kg

【参考】自給有機質肥料を施用する場合の化成肥料減肥量

1 牛糞尿、豚糞尿、鶏糞等は多量な養分を含み、特にカリウムは肥効率が高いため、施用する際は化成肥料を減らす必要がある。

牛糞尿：尿中のN・K・Na含量が高い。

豚糞尿：肥料効果は高い。（利用・散布にあたっては臭気等周辺環境に配慮する）

鶏糞：家畜糞の中では最も肥料成分が多い。特にCa・N(尿酸態)が多い。採卵鶏は水分と石灰が多い。ブロイラーはP・K・Mgが多い。

2 配合肥料の場合はカリウムの配合比が低いものを選ぶ。化成肥料の減肥可能な量を以下に示した。しかし、これらに含まれる有効成分量は飼料の質・敷草の種類によってかなり異なる。また、次表（付5、付6、付7）は大まかな目安である。

付表4 牛糞尿の肥料成分

種類	含有量(kg/現物1t)			使用上の注意
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
生糞	1.5	2.0	3.0	分解し易い物質が多いため、根に一時的な損傷を与えるおそれがあるので、植付け1ヶ月前に施用する。
乾燥糞	5.0	11.0	15.0	
厩肥	1.5	3.0	5.0	
液状厩肥	3.5	1.7	3.5	
生尿	9.0	0.1	13.5	速効性、追肥向き、N・K・Naが多いので多投を避ける

付表5 豚糞尿の肥料成分

種類	含有量(kg/現物1t)			使用上の注意
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
生糞	7.5	12.0	4.0	分解し易い物質が多い(牛糞より多)ので、根に一時的な損傷を回避するため、植付け1ヶ月前に施用し、土壌中で十分、分解させることが必要である。
乾燥糞	18.0	32.0	13.5	
厩肥	6.5	10.0	6.5	
液状厩肥	3.5	2.0	1.8	
生尿	4.5	0.5	9.0	養分が少ないので、牛尿より多量に施しても良い。

付表6 鶏糞の肥料成分

種類	含有量(kg/現物1t)			使用上の注意
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
生糞	16.0	16.0	11.0	分解し易い物質や尿酸が多いため、根に一時的な損傷を回避するため、植付け1ヶ月前に施用し、土壌中で十分分解させることが必要である。
乾燥糞	21.0	34.0	24.0	
おが屑堆肥	6.0	12.0	10.0	養分が少ないので、牛尿より多量に施しても良い。

付表7 家畜糞の化学肥料代替性

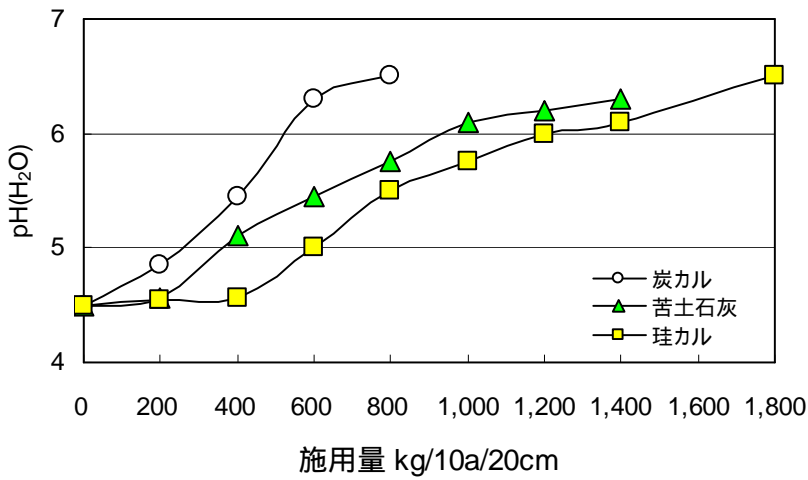
種類	取りまとめ者	肥効率(%)			元肥Nとして施用できる割合(%)
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
牛	厩肥	草地試	30	60	30
	糞	松崎氏	30	60	
	糞	中国農試	30		
	おが屑堆肥	中国農試	15		
豚	厩肥	草地試	50	60	60
	糞	松崎氏	70	70	
	糞	中国農試	70		
	おが屑堆肥	中国農試	35		
鶏	乾燥糞	草地試	70	70	60
	糞	松崎氏	70	70	
	糞	中国農試	70		
	おが屑堆肥	中国農試	35		

尿(牛・豚)の肥効率は、3要素ともに100%(松崎氏)

野菜試験場環境部土壌肥料研究室作成(1983)

付表8 酸性土壌における酸度矯正

< 資材別 pH 緩衝曲線 >

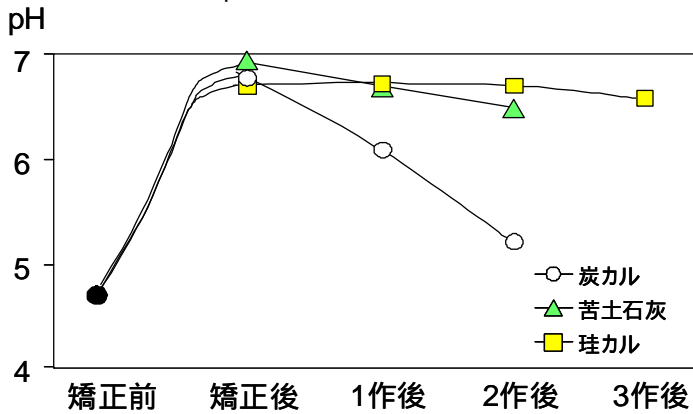


< 炭カル利用の場合の施用量 >

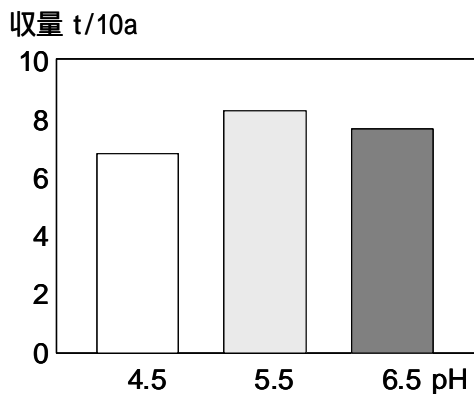
pH	国頭マージ	大東マージ
4.0	620	800
4.1	590	740
4.2	560	690
4.3	530	630
4.4	500	580
4.5	460	530
4.6	420	470
4.7	390	420
4.8	360	360
4.9	330	300
5.0	300	250
5.1	260	190
5.2	220	140
5.3	190	80
5.4	160	30
5.5	130	30

改良目標目標pH: 6.0
10aあたり20cm改良
緩衝曲線法による

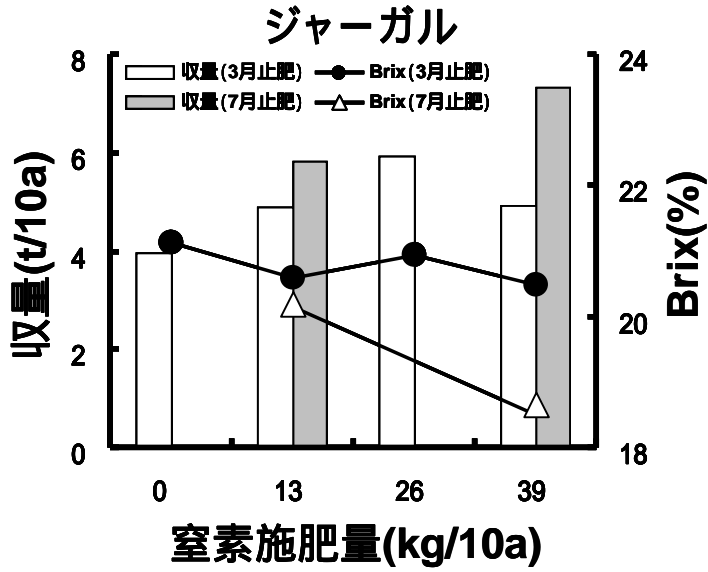
< pH 矯正効果の持続性 >



< 増収効果 >

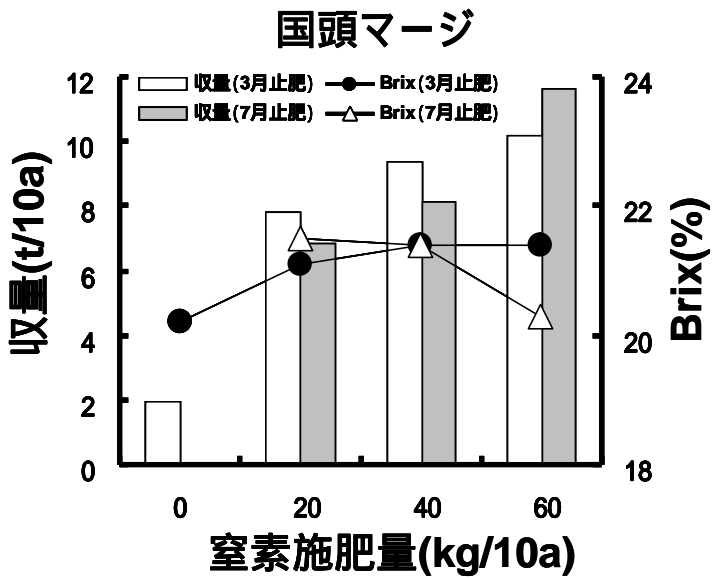


付表9 窒素の施用量および施肥時期が収量・品質に及ぼす影響



供試品種: NCo310
作型: 夏植

	施肥時期	
	3月止肥	7月止肥
元肥	9月	9月
第1回追肥	11月	12月
第2回追肥	1月	3月
第3回追肥	3月	6月



供試品種: F177
作型: 夏植

	施肥時期	
	3月止肥	7月止肥
元肥	9月	9月
第1回追肥	11月	12月
第2回追肥	1月	3月
第3回追肥	3月	7月

付表11 農薬希釈早見表

倍数	希釈液中の薬剤の濃度(%)	水10Lに対する薬量	水一斗に対する薬量	包装単位に対する希釈量(水の量:L)		
		gまたはcc	gまたはcc	100gまたはcc	250gまたはcc	500gまたはcc
50	2.000	200.0	360.7	5	12.5	25
100	1.000	100.0	180.0	10	25	50
200	0.500	50.0	90.0	20	50	100
300	0.333	33.5	60.0	30	75	150
400	0.250	25.0	45.0	40	100	200
500	0.200	20.0	36.0	50	125	250
600	0.166	16.5	30.0	60	150	300
700	0.143	14.5	25.5	70	175	350
800	0.125	12.5	22.5	80	200	400
900	0.111	11.0	20.0	90	225	450
1,000	0.100	10.0	18.0	100	250	500
1,200	0.083	8.5	15.0	120	300	600
1,400	0.071	7.0	13.0	140	350	700
1,500	0.067	6.5	12.0	150	375	750
1,600	0.063	6.0	11.5	160	400	800
1,800	0.056	5.5	10.0	180	450	900
2,000	0.050	5.0	9.0	200	500	1000
2,200	0.045	4.5	8.0	220	550	1100
2,500	0.040	4.0	7.0	250	625	1250
3,000	0.033	3.3	4.0	300	750	1500
4,000	0.025	2.5	4.5	400	1000	2000
5,000	0.020	2.0	3.6	500	1250	2500

1 1 沖縄県さとうきび栽培指針検討委員会の構成員

氏名	所属	職名	備考
安田 宗伸	沖縄県農林水産部糖業農産課さとうきび班	班長	委員長
山口 悟	沖縄県農林水産部営農支援課	主任技師	
谷口 昌弘	沖縄県農業研究センター	作物環境総括	副委員長
出花 幸之介	沖縄県農業研究センター	作物班長	
新里 良章	沖縄県農業研究センター	農業システム開発班長	
小浜 継雄	沖縄県農業研究センター	病虫管理技術班長	
比嘉 明美	沖縄県農業研究センター	土壌環境班長	
真武 信一	沖縄県病害虫防除技術センター	予察防除総括	

用語解説

項目	用語	説明
作型	春植え	春期（一般的に2月中旬～4月下旬）に植付け、約1年間栽培し、翌年の1月～3月に収穫する栽培法。
	夏植え	夏期（8月～9月下旬）に植付け、約1年半栽培し、翌々年の1月～3月に収穫する栽培法。
	株出し	前作（春植え、夏植え、株出し）収穫後、地下株から萌芽する芽を約1年間栽培し、翌年の1月～3月に収穫する栽培法。
作業	中耕	作物の間を浅く耕耘する作業。除草効果もあり、固結しやすい土では通気性を高める。また、土の透水性を高めて降雨時の土壌浸食を防ぐ
	（平均）培土	作物の根元に土をよせること。さとうきびの場合、畦を崩し、植溝（畦間）に植えたさとうきびに土をよせることとなる。
	高培土	平均培土後に再度、土を寄せる作業。植物体を支持し、台風による倒伏、野そ害を軽減する。
	欠株	発芽、萌芽、生育不良による枯死などで株が欠失すること
	補植	欠株部分を、植え替える作業
	株揃え	株出し栽培において、株を地表から5cmほどの深さで水平に切り戻す作業。萌芽を促す。
	根切り	新しい根を発生させ生育を促進するため、古い根の一部を切断する作業。
形態	梢頭部	サトウキビの地上部の頂部。第4完全展開葉が着生する節から上の部分。
	仮茎長	第1完全展開葉の肥厚帯から蔗茎の発芽位置までの長さ
	分けつ	根に近い茎の節から新芽が伸びて枝別れすること
	無効分けつ	発生した分けつのうち、原料茎まで成長せず枯死した茎
	萌芽	収穫後に地下株の腋芽が出芽すること
	気根	地上の茎から出て空気中に露出した根
特性	初期伸長性	新植における生育初期（春植、株出し：植付け～6,7月、夏植：植付け～翌年の3月）までの仮茎長の伸長程度
	脱葉性	収穫時の成熟茎外葉の脱葉の難易
	耐風性	台風などの強風による被害（茎や葉の損傷）に耐える性質
	耐干性	土壌の乾燥に耐える性質
	乱倒伏	生育中に台風等で不規則に倒れること
	早期高糖性	早い時期（11～12月）からNiF8等と同等もしくはそれ以上糖度が高い形質
品質	ブリックス	搾汁液中の可溶性固形分の重量百分率で、一般的にブリックスは蔗汁糖度および可製糖率と高い相関がある（ほ場ブリックスと蔗汁ブリックスがある）
	甘蔗糖度	茎の中に含まれる蔗糖の重量百分率で、国内の品質取引制度の基準となっている。
	トラッシュ	原料茎とともに製糖工場に運ばれた甘蔗葉、葉梢、梢頭部、稚茎、枯死茎、甘蔗根、土砂、結束なわ等の夾雑物
	可製糖量	計算上の単位面積当たりの産糖量のこと。可製糖量 = 蔗茎収量 × 可製糖率で表される。

注) 参考資料：農林水産植物種類別審査基準、さとうきびに関する調査基準、さとうきびとその栽培、製糖化学便覧